

2021 年度キューピーみらいたまご財団事業計画書

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

弊財団では、昨年、活動団体に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルスの影響が 2021 年度も年間を通じて、続くと的前提で事業計画を設定いたしました。

その新型コロナウイルス感染防止策として有効な「3密回避」は、財団の助成対象である「食育活動」や「居場所づくり活動」を大きく制限しています。一方でコロナ禍による生活困窮世帯の拡大によって、子どもの貧困は深刻さを増し、その「居場所づくり」支援はこれまで以上に重要になってきています。

こうしたことを踏まえて、2021 年度の助成事業を検討するとともに、これまでの助成金助成に加えて、これまでも活動団体の方から、ご要望を戴くことの多かったキューピー製品などの物品助成の機会も増やすことといたしました。

そして、助成金申請の選考時に、新たに顕彰事業として創意工夫に富んだユニークなコロナ感染対策を「感染防止対策特別賞」として表彰することといたしました。（顕彰事業に関する公益認定を申請中であります）

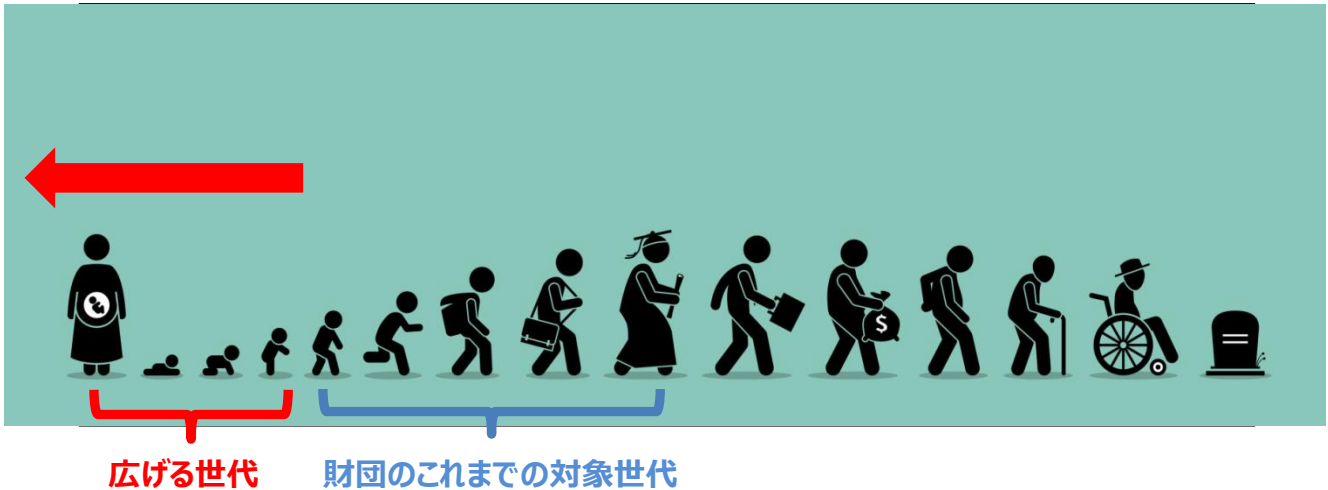
また、例年行っております、活動団体の皆様同士の情報交換、交流の場づくりとなっている「助成授与式」や「居場所づくりサミット」は、昨年度から採用しているオンラインでの開催を今年も計画します。

尚、助成先については各地で財団の助成事業説明会を開催し、助成の周知を図り、ホームページなどにて公募を行い、選考委員会にて決定します。

1. プログラム A 食育活動への助成

食育活動助成については、昨年に引き続き、「SDGs と連携した食育の取組み」「一人の人間のライフステージで継続的な食育が行なわれているかという視点での検証の重要性」等に重点を置き、キューピーグループが掲げるサステナビリティ目標の「健康寿命延伸への貢献」「子どもの心と体の健康支援」との連動もはかります。

加えて、今年度の助成では、2019 年末に「母子保健法の一部を改正する法律」に「産後ケア事業」の義務化が追記されたことなどを受け、産後ケア（出産後 1 年を経過しない女子及び乳児の心身の状態に応じた保健指導、療養に伴う世話又は育児に関する指導、その他の援助）に関わる食育事業も対象とし、財団の助成対象を拡げました。



なお、2021年4月に「第4次食育推進基本計画」が発表されますので、今年度は、これらも参考にしながら、弊財団らしい食育助成についての検討を進めて参ります。なお、昨年度より、プログラムに加えた「特定課題（健康寿命延伸のための食育）による3年継続助成」は今年度は新たな公募は行わず、昨年5つの助成団体の伴走等に努め、2022年度の助成期間終了後、新たな公募を予定しております。

（食育活動 取り組みテーマ例）

生活習慣病予防など健康に配慮した食の普及／調理スキル向上／野菜の栽培や収穫などの農業体験／家庭や地域での共食／家庭や地域での食品ロス削減／農業従事者拡大など農業支援／食文化継承／食育コンテンツ開発／食育指導者の育成 等

2. プログラムB 食を通じた居場所づくり支援 ～子どもの貧困対策への助成

ここでいう「貧困」とは、「経済面」だけでなく、「体験・交流」の乏しさから生まれる課題を意味しており、財団では今年もこれらの解決をめざした居場所づくり支援への助成を行います。

しかしながら、昨年の新型コロナ感染拡大によって、こうした居場所づくり活動は大きな変更を余儀なくされています。感染予防策として有効な「3密回避」は、子ども食堂の開催自粛につながり、かなりの子ども食堂が活動を中止しました。その中でも、生活困窮世帯の子ども達との関わりを持つ団体は、弁当配布やフードパントリーのような支援策で、子ども達とのつながりを維持されています。しかし、こうした活動は食堂運営よりも、より多くの食材や資金を必要としており、コロナ禍の長期化は活動団

体にとっても資金面で厳しい状況となっています。

また、こうした活動以外に、3密を避けるために、規模を縮小したり、複数回にわけて食堂開催を行う団体からは、食事の提供を続けることだけでは子ども達の居場所の提供になっていないというお悩みを聞くことも増えてきました。

弊財団では、こうした活動団体の支援の一助になればとの思いで、昨年実施した「新型コロナ禍特別助成」を今年も継続するとともに、食品などの物品助成を積極的に行って参ります。

そして、予てより、課題となっていた、こうした食品寄贈の提供先から子ども食堂へのスムーズな流通を実現するための「子ども食堂サポートセンター」や「ネットワーク」のような中間支援団体の皆さんの物流体制の投資などへの助成も今年度からさせていただくことにいたしました。

なお、子ども食堂を開始して1年以内の活動団体に、立ち上げ時の食材や人件費などの運営費用を含めて助成する「スタートアップ助成」も、現場の状況に合わせた形で、今年度も継続して参ります。

3. 食を通じた居場所づくり活動を推進するセミナーの開催

拡大する子ども食堂などの居場所づくり活動の定着をめざし、展開事例紹介や団体同士のネットワークづくりにつながるセミナーや助成説明会を東京と全国数か所で開催しております。しかしながら、今年度はコロナ禍もあり、昨年実施したようなオンラインでの開催で検討しております。

●当年度助成計画

- ・公募期間 2020年11月2日～2020年11月30日
- ・助成対象期間 2021年4月1日～2022年3月31日
- ・助成金総額 4000万円